議員提出議案第 八 号

小学校社会科教科書の森林・林業についての記述に関する意見書

このことについて、別紙のとおり内閣総理大臣、文部大臣、農林水産大臣、林野庁長官に意見書を提出する。

昭和六十三年九月二十八日提出

提出者	三朝町議会議員	平井一義
賛成者	三朝町議会議員	矢木勇雄
賛成者	三朝町議会議員	坂出隆
賛成者	三朝町議会議員	岩本君美
賛成者	三朝町議会議員	福田家和

昭和六拾参年九月廿八日 原案可決

三朝町議会議長 安井由行

小学校社会科教科書の森林・林業についての記述
に関する意見書

昭和五十二年に小学校学習指導要領が改定され、社会科に盛り込まれていた林業が削除されるとともに、昭和五十五年から同要領の施行に伴い社会科教科書における森林・林業の扱いが著しく縮小されて現在に至っている。

森林は、木材を供給する働きに加えて、きれいで豊かな水、空気を提供し、教育的利用の場を提供するなど、その果たす役割には極めて大きなものがあり、次代を担う児童の情操を育み、人格を形成する上で欠かせないものがある。

近年、都市化、工業化など経済社会の高度化のなかで、森林の役割や林業に対する認識が希薄になってきており、今後の森林の健全な育成に支障を来す恐れがある。

森林の維持には長期にわたるたゆまざる努力が必要であり、二十一世紀を担う児童がこのことに対して十分な理解が得られるような教育が不可欠である。

よって、現在、文部省で行われている学習指導要領の改定作業において、森林・林業の役割等についての記述が小学校教科書に充実されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

昭和六十三年九月二十八日